

+abmail — 迷惑メール対策サービス

迷惑メール判定プログラム「abmail」によるスパム対策

株式会社あいはら 研究開発チーム

迷惑メールという社会問題

インターネットが普及した現在、社会的に問題となっている情報セキュリティのひとつに、大量に送りつけられる「迷惑メール」問題があります。

まず、迷惑メールが一日に数十通も届くようになってしまうと、それらを棄てる作業だけでも手間が掛かりますし、正当なメールを誤って棄ててしまいがちになります。その上、迷惑メールに貼付けられたリンクを誤ってクリックしてしまい、セキュリティを脅かされることになりかねません。

弊社でも2004年中頃から大量の迷惑メールが届くようになり、業務に支障を来すのも時間の問題であることから、抜本的な迷惑メール対策の導入が急務となっていました。

これまでの迷惑メール対策の問題点

既存の対策ソフトをいくつか検討しましたが、判定手法がイタチごっこの様相だったり、メールサーバに過負荷が掛かるものだったり、迷惑メールの本質に合ったものとは思えません。

まず、メールの本文を走査して迷惑メールか否かを判断する手法は、迷惑メールを送りつけるスパマーは自前で本文を用意できる訳ですから、次から次へと既存の判定手法を攻略してきます。

また、正当なMTAかスパマーかを再送要求や応答遅延で判断する手法も、スパマーに気付かれ易く、現にそれらを回避するスパマーも出現しています。

そこで弊社では、既存の迷惑メール対策の問題点を克服した独自の迷惑メール判定プログラム「abmail」の開発に着手し、実用化に成功しました。これは、弊社メールサーバで実際に運用されており、ユーザに迷惑メールの無い平穏な日々を取り戻すことができました。

この恩恵を社会にも還元すべく、弊社はこのabmail導入支援として、迷惑メール対策サービス「+abmail」を行って参ります。特に、既設メールシステムへの導入については、柔軟に対応させて頂く所存です。

これからの迷惑メール対策

弊社独自開発の迷惑メール判定プログラム「abmail」には以下の特徴があります。

1. メール本文を走査しない
2. ヘッダのみから迷惑メールか否かを判定
3. 厳格なメール到達経路管理による判定
4. セキュアコーディングされており安全
5. 軽量なアルゴリズムにより高速
6. 偽のバウンスを迷惑メールと判定可能

また、迷惑メールと判定されたメールは速やかに削除されるか、後にユーザが確認できるように隔離されるか、ユーザが分類しやすいように判定結果が情報付加されます。いずれにせよ、スパマーにはメールは到達したと思わせつつ、ユーザの利便性と安全性を確保することが重要です。スパマーは到達したはずのメールの費用対効果が芳しくないことにいずれ気付くでしょう。しかし、具体的な対策方法が即時には不明な上に、それを回避するにはコストが掛かるようになってきていることから、この手法の寿命は比較的長いことが期待できます。

表. 受信メールの種類と数

種類	数	割合	数/日
ウイルス	24462	39.8%	232.97
不正ヘッダスパム	7010	11.4%	66.76
不正アドレススパム	21806	35.5%	207.68
不正バウンスメール	88	0.1%	0.84
その他正当なメール	8075	13.1%	76.90
総数	61441	100.0%	585.15

上表は、ウイルス対策ソフトとこの判定プログラムを併用し、100日間に渡り実運用した際の受信メールの種類を表しています。ウイルスと合わせると全メールの9割近くが迷惑メールであることが解ると同時に、迷惑メールを的確に捕捉していることが判ります。

一日に数十通以上の迷惑メールを送りつけられて困っている方、そういったユーザを抱えて困っているサーバ管理者の方は、本手法の導入を検討してみてはいかがでしょうか。

【お問い合わせ先】

株式会社あいはら 研究開発チーム
E-mail: rdteam@aihara.co.jp TEL: 047-437-1151